

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2022年 第12週（3月21日～3月27日）

今週のコメント

～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、密閉・密集・密接の回避が重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 大きく減少」

第12週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は460例であり、前週比19.0%減であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.74、0.23、0.15、0.08、0.06である。

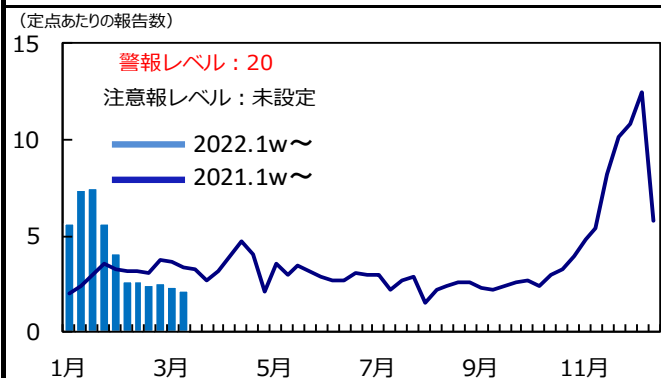
感染性胃腸炎は前週比21%減の341例で、大阪市南部2.61、南河内2.44、中河内2.40、北河内2.12、豊能1.70であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は16%増の29例で、中河内0.45、堺市0.32、南河内0.25である。

流行性角結膜炎は100%増の4例で、大阪市西部0.50、三島0.50、泉州0.17であった。

咽頭結膜熱は45%減の12例で、南河内0.25、中河内0.20、三島0.06である。

感染性胃腸炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

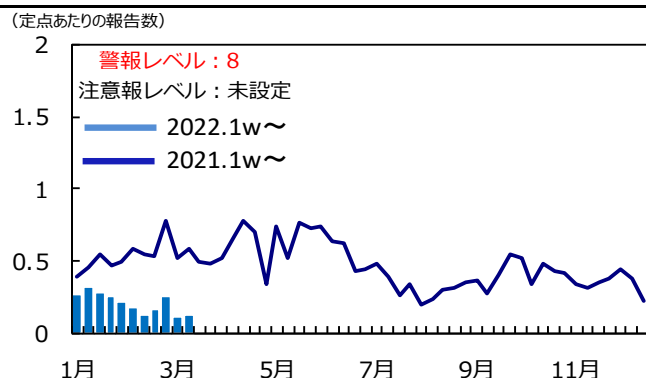


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第12週3月21日～3月27日）

第12週の順位	第11週の順位	感染症	2022年 第12週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2021年 第12週の 定点あたり 報告数	2022年第12週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.74	21%減	3.24	2歳_14%
2	2	突発性発しん	0.23	6%減	0.35	1歳_60%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.15	16%増	0.51	3歳_14%
4	6	流行性角結膜炎	0.08	100%増	0.15	20歳以上_75%
5	4	咽頭結膜熱	0.06	45%減	0.14	1歳未満, 1歳_33%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.01	100%増	0.01	10-14歳_100%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第12週のコメント

～梅毒～ 大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期より多く、
全国でも2020年5,784例、2021年7,873例と増加している

全数把握感染症

梅毒

国内の梅毒の報告数は、2010年より増加傾向にあったが、大阪府における2020年の報告数は、3年ぶりに、1,000例を下回った。

梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[梅毒とは\(国立感染症研究所\)](#)

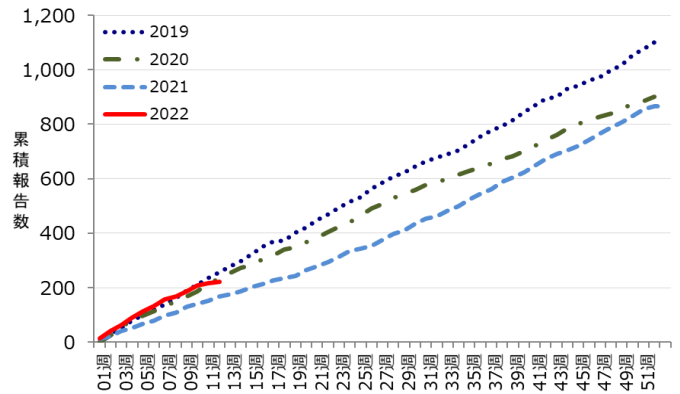


表2. 大阪府全数報告数（2022年 第12週3月21日～3月27日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内累積報告数									
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積	
4類感染症	デング熱	2								2		2
	レジオネラ症(肺炎型)	1									1	16
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1									1	20
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1							7
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		1							1	16
	梅毒	6	1							2	3	223
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	22,837	2020年1月以降累計 781,081									
結核 (2022年1月分)	結核 新登録患者数：52名		(内 肺・喀痰塗抹陽性 23名) (府内累積報告数 52名、内 肺・喀痰塗抹陽性 23名)									

(2022年3月29日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。](#)